

平成27年度に策定した「第2次
城里町総合計画（平成28年度～令和
7年度）」に基づき、

○働く場所をつくる

○住みよい環境をつくる

○住む場所をつくる

○愛する心を育成する

を4つの政策の柱として、今年度
も人口減少対策に引き続き取り組
みます。

令和4年度

施政方針と予算の概要

令和4年度の施政方針の主な内容をお知らせします。施政方針とは、町政運営に対する町長の考えや主要な施策を明らかにするものです。



城里町長
上遠野 修

昨年も新型コロナウイルス感染症対策に翻弄される年となっていました。町民の皆さまには、日々の感染拡大防止に、多大なご協力をいただき心より感謝申し上げます。昨年実施した新型コロナウイルスワクチン接種では、常に県内トップクラスの速さで接種を続け、町内での感染拡大を抑えることができました。そして先月には、中学校の京都への修学旅行を3年ぶりに実施することができ、少しずつ普段の生活を取り戻しつつあります。今年は、感染防止に留意しつつ、コロナ禍前のような社会・経済活動を行っていく年にしていきたいと考えています。

昨年の4月から、土地開発事業の適用範囲が2,000㎡までに緩和されました。その結果、既に宅地開発事業が町内の4か所で行われ、計18棟の住宅が建築されており、人口増加の要因となっています。そのような中、今年の3月・4月には、城里町に141名の転入と122名の転出があり、転入が転出を19名上回りました。引越シーズン中の3月・4月において転入超過となるのは、近年になかった明るい兆しであり、全国的に死亡が出生を上回る中で城里町の人口減少のスピードをゆるやかにしています。引き続き、子育て支援や住宅建築を後押しする政策で、人口減少を食い止める努力を続けて参ります。

さて、令和4年度についても「新型コロナウイルス感染症の影響から町民の暮らしと産業を守るための事業」を行います。昨年に引き続き、町内店舗で使用できる商品券「元氣アップ振興券」を配布し、町民の生活を支えるとともに、町内店舗での消費を促進します。また、新規需要米などの作付けに対し、前年度助成額にさらに10アールあたり1万円を上乗せし、主食用米から新規需要米への転換を促すこと

で、米作農家全体の所得向上を目指します。

次に、「未来のための事業」を進めて参ります。産業振興の分野では、「道の駅かつら」の建て替え事業について、引き続き取り組んで参ります。本年度は、いよいよ建物の設計費を計上しています。基本設計と実施設計を一体で行うことで、効率的に設計作業を進め、一日でも早い道の駅の完成を目指します。

また、「子育て支援の充実のための事業」を拡充して参ります。路線バスの事業者支援と利用者負担軽減を図るため、今年度は通学定期券の補助対象を高校生に限定せず、小・中学生、専門学校生、大学生にも拡大します。

結びとなりますが、今後とも町民との対話・協働を図りながら、まちの将来像である「人と自然が響きあいともに輝く住みよいまち」づくりの実現に向け、全力で取り組んで参ります。

コロナ禍における「未来に向けたまちづくり」



コロナ禍における消費喚起 城里町元気アップ振興券 (予算額：1億252万1千円)

新型コロナウイルス感染症の影響により減退した消費を喚起するため、地域振興券を配布します。



魅力あふれる道の駅に 道の駅かつらの移転整備 (予算額：8,198万6千円)

道の駅かつらの移転整備のため、調査業務、基本設計・実施設計等を行います。



飼料米等の作付けを行う 農業者に対し町独自補助 (予算額：3,944万円)

米価の下落対策として、飼料米等への補助を10aあたり1万円増額し、農家の所得向上を図ります。



小学生から大学生までの 路線バス等の通学費を補助 (予算額：910万円)

子育て支援、公共交通の利用促進のため、児童・生徒・学生の皆さんの通学費を一部補助します。



働く場所をつくる

- 町内に事業所等の新設や増設を行う企業へ、企業立地奨励金を交付するなど、積極的な支援を行い、雇用の創出や地域産業の振興を図ります。
- 空き店舗等を活用する創業希望者に対し、改装費用等を助成し、地域商業を活性化させます。
- 新規就農者の機械導入や施設整備に係る経費について支援を行います。
- 那珂川大橋の架け替えにともない、道の駅かつらを移転して、より魅力的な施設に建て替えるための調査業務、基本設計・実施設計等を行います。

住みよい環境をつくる

- 小・中学校に加えて、保育所および認定こども園に通う3～5歳児の給食費無償化を行い、茨城県トップクラスの子育て支援を進めていきます。
- 路線バス等の公共交通機関を利用して通学する小学生から大学生の保護者等に対し、通学費の一部を補助します。
- 高校生までの医療福祉費支給制度『マル福・マル特』の適用を引き続き実施します。
- 地域の生活環境に悪影響を及ぼしている空家に対し、撤去の促進と地域への安心安全の確保を図るため、解体撤去に係る費用の一部を補助します。
- 旧ごみ処理施設を解体した跡地に、資源ごみストックヤードと粗大ごみ置場を建設します。
- 安心で安全な生活環境を確保するため、道路や河川、水道、下水道の整備および維持管理を行います。
- 子どもたちの安心安全を守るため、通学路を中心に道路整備を進めます。

住む場所をつくる

- 老朽化した公営住宅の建て替えのため、実施設計および解体、新築工事を行います。
- 一部の公営住宅については、入居条件を緩和し、高齢者でなくとも単身で入居できるようにしています。
- 町内に住宅を建てる場合の費用や、あわせて購入する宅地の費用に対して補助を行い、定住促進と町内産業の振興を図ります。
- 新婚世帯を対象に、新生活のスタートに係る引越費用や家賃等の一部を補助します。

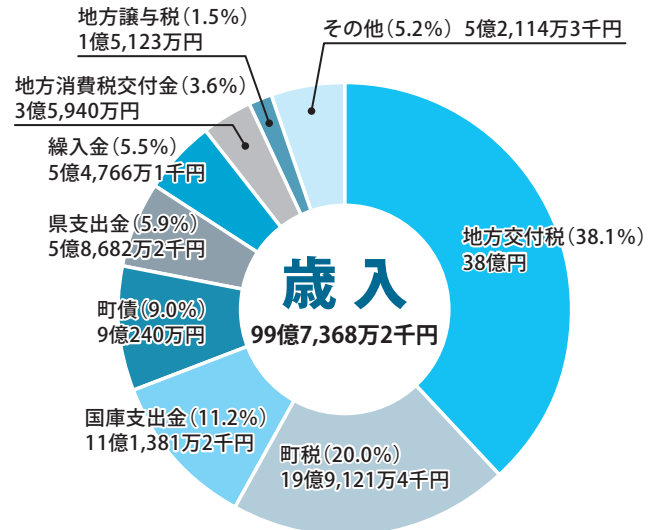
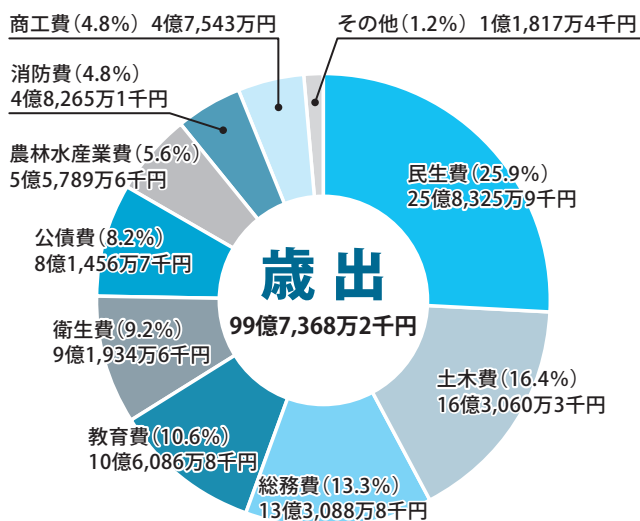
住み続けたいと思っ 心をつくる

- 町内の図書館および図書室の図書資料等を充実させ、生涯学習の環境を整えます。
- コミュニティセンター城里において、コンサート等を開催し、芸術・文化にふれる機会の確保に努めます。
- 桂公民館およびコミュニティセンター城里の外壁等の改修を行い、文化交流のための環境を快適にします。

令和4年度 当初予算の概要



一般会計予算総額 99億7,368万2千円(対前年度比 2.1%減)



民生費は、住民税非課税世帯への臨時特別給付金事業などを計上し、前年度比4,497万5千円、1.8%の増としています。

土木費は、昨年度に引き続き町営南団地の建替事業などを計上し、前年度比8,607万9千円、5.6%の増としています。

教育費は、石塚小学校、桂公民館など、教育施設の長寿命化に向けた改修事業などを計上し、前年度比1億3,459万3千円、14.5%の増としています。

衛生費は、ごみ処理施設解体事業が終了したことなどから、前年度比4億5,091万円、32.9%の減としています。

一般廃棄物処理施設整備事業の進捗にともない、関連する国庫支出金、町債などが大幅に減額となっています。特に、町債では合併特例債が大きく減となり、前年度比2億9,660万円、24.7%の減としています。

一方、国庫支出金では、住民税非課税世帯への臨時特別給付金事業や町営南団地の建替事業にともなう国庫補助金により、前年度比5,001万7千円、4.7%の増としています。

また、今年度も継続して、交付税措置率の高い地方債や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などを有効活用し、予算編成を行っています。

各会計の当初予算額

会計名	令和4年度 予算額	対前年度比
一般会計	99億7,368万2千円	2.1%減
特別会計等	85億6,649万8千円	11.7%増
国民健康保険特別会計(事業勘定)	22億7,355万4千円	1.8%減
国民健康保険特別会計(施設勘定)	2億3,605万2千円	1.2%減
後期高齢者医療特別会計	2億5,899万5千円	2.3%増
介護保険特別会計(保険事業勘定)	25億362万2千円	2.3%増
介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	510万5千円	15.6%増
水道事業会計	12億1,804万円	5.7%増
下水道事業会計	20億7,113万円	64.8%増
合 計	185億4,018万円	3.8%増

※下水道事業会計は、令和4年度より企業会計へ移行したため、公共下水道事業会計および農業集落排水事業会計の合算額と比較しています。

商工費

○企業立地奨励事業 1,903万1千円

町内への企業立地を推進するため、町内へ施設等
新設・増設した事業所へ奨励金を交付します。

○住宅新築および住宅新築等用地購入補助事業

1,150万円

町内の施工業者により、住宅を新築する場合の工事
費や、新築工事等にあわせて宅地を購入した場合の
費用の一部を補助します。

○鶏足山駐車場整備事業

3,938万4千円

鶏足山駐車場の利便性向
上および近隣住民の安全
確保のため、駐車場の拡
張工事を行います。



○観光施設・健康増進施設改修事業 3,860万4千円

総合野外活動センターふれあいの里および健康増進
施設ホールの湯の改修工事を行い、利用者の安全性
と利便性の向上を図ります。

土木費

○町営住宅建替事業 1億5,165万5千円

老朽化した町営南・米沢団地の建て替えを実施し、
適切な住環境を整備します。

○河川しゅんせつ事業 500万円

河川の氾濫による浸水被害を防ぐため、町内河川の
堆積土砂の撤去等を行います。

○住宅リフォーム補助事業 300万円

町内の施工業者により、住宅リフォームを行う場合
の費用の一部を補助します。

○ブロック塀等安全確保事業 140万円

倒壊のおそれがある危険なブロック塀の撤去等に係
る費用の一部を補助します。

消防費

○消防団防寒服購入事業 695万円

消防団が着用する防寒服を、視認性および防寒性の
優れた防寒服に更新し、防災活動の向上を図ります。

教育費

○学校給食費負担軽減事業 歳入減 5,557万2千円

保護者の負担軽減を図るため、小・中学校の給食費
を無償化します。

○石塚小学校特別教室棟改修事業 4,622万2千円

建物の長寿命化を図るため、屋上および外壁の改修
工事を行います。

○コミュニティセンター城里外壁改修事業

4,423万1千円

建物の耐震性や耐久性を維持するため、外壁の改修
工事を行います。

○図書および視聴覚資料購入事業 697万8千円

コミュニティセンター城里図書室、桂図書館の図書
および視聴覚資料を購入し、利用者へのサービスの
充実と利用率の向上を図ります。

令和4年度

一般会計の主な事業

総務費

○地域公共交通事業 6,925万8千円

デマンド交通システムの運行費用を補助するととも
に、路線バスの運行を維持するため、乗合バス運行
事業者に対して補助します。

○行政手続オンライン化事業 865万8千円

子育て、介護などの手続きをオンライン化するため
に必要な機器およびシステムの導入を行います。

○各種証明書コンビニ交付事業 319万7千円

住民票、印鑑証明書、税証明書のコンビニ交付を行
い、行政手続きのオンライン化を進めます。

○管理不全空家解体撤去補助事業 150万円

地域の生活環境に悪影響を及ぼしている空家に対し、
その撤去を促進し、地域への安全・安心の確保と住
環境の向上を図るため、管理不全空家等の解体撤去
に係る費用の一部を補助します。

民生費

○医療福祉(マル福)事業 9,128万5千円

小児、妊産婦、母子(父子)家庭および重度心身障害
者に対し、医療費を助成します。

○特例小児・児童医療費助成(マル特)事業 1,554万円

マル福対象外の小児と高校卒業までの児童・生徒の
医療費を助成します。

○保育所・認定こども園給食費補助事業 1,559万8千円

保護者の負担軽減を図るため、1号および2号認定
者の給食費を助成します。

○住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業 7,967万5千円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた住民税非
課税世帯等を支援するため、給付金を給付します。

衛生費

○新型コロナウイルスワクチン接種事業 8,775万1千円

新型コロナウイルスワクチン接種の体制を整備し、
ワクチン接種を行います。

○新ごみ処理施設ストックヤード整備事業 7,100万円

旧ごみ処理施設を解体した跡地に、資源ごみストッ
クヤードと粗大ごみ置場を建設します。

農林水産業費

○鳥獣被害対策事業 512万7千円

鳥獣被害対策実施隊や必要設
備等への補助と、隊員の補助
員制度の導入で、有害鳥獣の
捕獲促進に努めます。



○新規就農者農業機械・農業施設等導入支援事業 200万円

農業者の育成・確保のため、新規就農者に対して農
業機械購入費や施設整備費等を補助します。